

PLANIMETRIC VECTOR FEATURE EXTRACTION

2D地図からベクター地物情報を抽出

自治体の地形（2D平面地図）地物データを更新・維持するための、費用対効果に優れたソリューション。GIS管理者の仕事は、データを効率的に取り込み、管理し、ユーザーに配布することであり、必ずしもデータを作成することではありません。そのため、多くの自治体がフィーチャ（地物）データや自治体GISデータベースを最新の状態に保つのに苦労していることが、様々な調査から明らかになっています。ここに生じるギャップを、East View Geospatial（EVG）は、専門知識を要することなく、効率的かつ低コストで埋めることができます。EVGの地形ベクターフィーチャ抽出サービスにより、自治体は常に最新のデータを手元に置くことができ、GIS管理者や自治体プランナーは建物やその他の重要なフィーチャ（地物）の位置と状態をより明確に把握できるようになります。

ソースデータ

EVGは自治体のGIS管理者と協力し、抽出に使用する最適なソースデータを決定します。多くの場合、これは自治体から提供される高解像度の空中写真またはLiDARデータとなります。そのようなデータがない場合、EVGは追加料金にて自治体全域の空中写真および／または衛星画像を提供することも可能です。



フィーチャ（地物）抽出

EVGは、各自治体のデータベースを最新の状態に更新し、年次更新サービスによってその状態を維持します。

更新対象となるフィーチャ：

建物フットプリント

- 自治体全域で、位置情報と全件データに属性を付与

交通インフラ

- 道路
- 私道（ドライブウェイ）
- 暗渠（カルバート）
- 鉄道
- 橋梁
- 歩道・小道

土地被覆

- 河川
- 湿地
- 海岸線
- 森林

ミネソタ州スコット自治体における新規フィーチャ抽出例

ソリューション |



旧データとEVG更新データの比較：ミネソタ州スコット自治体が抽出したデータ（左）と、EVGが更新したデータ（右、追加された一部地物をハイライト表示）の比較

料金モデル

EVGは、以下のベクター地物情報抽出サービスを提供しています：

- 初回フィーチャ抽出（自治体全域を対象とした包括的な抽出）
- 年次更新
- 全クランチャー（土地利用／土地被覆）データベースの抽出・作成

上記サービスの料金は、自治体の総面積および有償または無償のソースデータの有無によって変動します。データは必要な任意のGIS形式で納品可能ですが、一般的な納品形式としてはシェープファイルや.gdb形式があります。

イーストビューの強み

- GIS製品の調達・購買・制作における25年以上の経験
- 信頼性の高いデータセットを提供するグローバルなコンテンツサプライヤーネットワーク
- 北米に本社を置き、ヨーロッパ、アフリカ、アジア、南米、オセアニアに拠点を展開
- 正確な成果物を保証する社内のGISアナリストチーム
- 地理情報システム（GIS）、リモートセンシング、地図作成の専門家



Google Earthでの2.5D表示例：
空中写真から抽出した建物と、州提供のLiDARデータによる3Dレンダリング（ミネソタ州スコット郡）

BOOKS
KINOKUNIYA

お問い合わせ先

株式会社紀伊國屋書店 デジタル情報営業部
メールアドレス：online@kinokuniya.co.jp
電話番号：03-6910-0518